

令和4年度 第2回岸和田市教育委員会評価委員会 会議録

○日 時：令和4年8月9日（火）午後2時～午後2時40分

○場 所：職員会館2階 大会議室

○出席者

委員長 坂本 暢章 委員 斉喜 昭彦 委員 数宝 奈保

○事務局

教育長 大下 達哉

教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 片山 繁一／生涯学習部長 牟田 親也

総務課長 井上 慎二／学校適正配置推進課長 池内 正彰／学校給食課長 濱崎 賢治

学校管理課長 樋口 泰城／産業高校学務課長 田中 幸博／学校教育課長 松本 秀規

人権教育課長 八幡 泰輔／生涯学習課長 井出 英明／スポーツ振興課長 庄司 彰義

郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純／総務課主幹 柿花 真紀子

○傍聴者：2名

1. 岸和田市の教育委員会の点検・評価について

○柿花総務課主幹

公私ともにお忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、第2回岸和田市教育委員会評価委員会を開催させていただきます。

また、本日の会議ですが、委員4名中3名の方が出席されています。「岸和田市教育委員会評価委員会規則」第5条第2項の“過半数の出席”の規定を満たしていますので、本委員会が有効に成立していることをご報告いたします。また傍聴の方は2名です。

本日の会議についてですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況ですので、大阪府からの要請等に応じ、3密の回避、マスク着用等の感染防止対策を講じ、審議時間についてはおよそ1時間程度とし開催させていただく予定です。何卒ご理解ください。

本日は、前回会議及び書面による点検・評価シート（案）に対する各委員の意見を確認いただく予定です。委員の皆様には事前に資料をお届けし、内容をご確認いただいておりますので、本日の会議時間を意見交換や内容の確認作業にあてていただくとして、この場で事務局からのシートごとの説明はいたしませんので宜しく申し上げます。

加えて、一連の点検・評価に関して評価委員会からの「総評」という形で報告書に掲載をする内容についても、のちほど資料を配布させていただきますので、確認の程お願いいたします。

それでは、ここからの議事進行につきましては、「岸和田市教育委員会評価委員会規則」第5条第1項に基づき、進行を坂本委員長にお願いいたします。

よろしくお願ひいたします。

○坂本委員長

それでは、ここからは私が議事を進行させていただきます。

只今から令和4年度第2回岸和田市教育委員会評価委員会を開催いたします。皆様方には、

円滑な議事進行にご協力を宜しくお願いいたします。

委員の皆様には、前回会議及び書面による点検・評価シート（案）に対するご意見ありがとうございました。

本日は、点検・評価シート（案）の最終確認を行う会議となります。各委員の意見に対する説明及び教育委員会の考え方については、既に資料をお送りいただき、確認をすませておりますので、この場で個別の説明は求めません。

委員の皆様からさらに説明を求めたい、確認をしておきたいということがあれば、遠慮なくご発言をいただければと思います。また事務局側で補足説明をしていただいても結構です。宜しくお願いします。

なお、議事の最後に、一連の点検・評価に関して評価委員会からの「総評」についても、確認の程お願いいたします。

それでは、点検評価に関しまして、最終確認をいたします。

教育総務部から順にまいります。

《教育総務部》

【項目No.10（P. 1～2）教員の業務負担軽減に向けた取組の推進】

○坂本委員長

部活動指導員に関する各学校の要望への質問に対し、「各学校のニーズにあわせ、広範囲の項目で募集している。募集の方法等、予算措置も含め検討したい」旨のご回答をいただいています。各委員からも意見を複数いただいていたのですが、追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

（異議なし。今回確認等事項なし）

【項目No.9（P. 3～4）小・中学校の適正規模・適正配置の推進】

○坂本委員長

より分かりやすいように、一部文言修正をされていますが、大きな変更はありません。追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

（異議なし。今回確認等事項なし）

【項目No.6（P. 5～6）学校給食運営の充実】

○坂本委員長

事業目標の経費削減を一定実現されているということで、総括評価が「目標を下回る」から「目標通り」に変更されています。また、この項目の食育の取組については、第1回会議後の意見に基づき追加記載されたものですので、改めて担当課から説明いただきたいと思います。

○濱崎学校給食課長

給食の委託について記載をしていましたが、項目として食育の充実と入っております。食育

に関する取組としまして、学校で実施している情報発信等について、事業の目的の概要欄へ新たに記載を加えました。

○坂本委員長

概要の4つ目の◇に学校給食における食育の取組について、説明の文章を加えていただきました。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.8 (P.7～8) トイレ等施設改修による環境改善】

○坂本委員長

施設改修ということで、今後も現場からの要望や通常予算の範囲内で対応する部分が残されているとの判断で方向性を「改善して継続」とされていましたが、この事業は予定どおり完了していますので、表記を「休止・廃止・終了」と変更されています。

今後の同分野での新たなニーズについては新規に項目設定をしていくとの説明を受けております。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。他に確認等事項なし)

【項目No.3 (P.9～10) 産業教育の充実】

○坂本委員長

委員から「成果指標の新規連携大学」についてご質問がありましたが、本年度4月に連携協定締結とのことで、次年度のシートに成果等を記載していただけるとのことです。是非良い成果をあげていただければと思います。前回から変更された部分はありませんが、追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

○坂本委員長

教育総務部については以上となりますが、他に全体で確認事項等がありますでしょうか。

○斉喜委員

本件から少し離れるかもしれませんが、小中学校の体育館が冷暖房化されるとお聞きしています。本市の予定はどうなっていますか。

○樋口学校管理課長

今年度、全小中学校の体育館に空調設備の設置を行い、年度末の3月末までに完了させる予定です。

○坂本委員長

他にありませんでしょうか。ないようですので、教育総務部については以上とします。次に、学校教育部にまいります。

《学校教育部》

【項目No.1 (P.11～12) 授業の改善・読書活動の充実】

○坂本委員長

行政的には「目標を下回る」という評価ということですが、前回も申しあげましたように、学力や不登校やいじめなどは様々な考え方に変わってきているというのがありますので、学校側に伝える際には工夫をしていただければと思います。新規事業の「コグトレ」の成果は今後実施校を拡充する中で精査する旨のご回答をいただいています。また、図書館司書の活動については取組内容の欄に追記をいただいています。追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.5 (P.13～14) 生徒指導体制・教育相談体制の充実】

○坂本委員長

SCやSSWの略称について、概要欄に説明を入れていただいています。また、生活指導支援員・子ども支援員の部分も整理していただき、分かりやすい表記にいただいています。各委員からも意見を複数いただきましたが、追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.7 (P.15～16) 体力向上の取組の推進】

○坂本委員長

取組内容を全体的に精査していただく中で、総括評価を「目標を上回る」から「目標通り」に変更されています。追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.2 (P.17～18) 「あゆみファイル」の活用】

○坂本委員長

成果の数値については「必要に応じて随時対応するものであり、目標値の設定はなじまない」とのことで、参考数値として令和2年度の実績値を追記していただいています。より分かりやすくなったのではないかと思います。追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.4 (P.19～20) 研修・啓発の充実】

○坂本委員長

ヤングケアラーの周知、また本人の認知に向け、方向性の欄に「早期発見と相談体制の充実」

を追記いただきました。ヤングケアラーは新しい課題であると思います。文言や方向性についての記載をいただきました。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

○坂本委員長

学校教育部については以上となりますが、他に全体で確認事項等がありますでしょうか。ないようですので、次に、生涯学習部にまいります。

《生涯学習部》

【項目No.11 (P. 21～22) 生涯学習基本方針の推進】

○坂本委員長

インクルーシブ等の文言の説明が必要との意見に対し、概要の欄にかなり詳細に注釈を記載いただいています。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.12 (P. 23～24) 学び舎プログラムの実施】

○坂本委員長

成果指標として参加者数を示しているのですが、実際の参加者数を記載すべきとの意見に対し、取組内容の欄に個別の数値を記載いただきました。コロナ禍の中で様々な工夫をされているとこのことで、引き続きよろしく申し上げます。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.15 (P. 25～26) 各種スポーツ教室等の開設】

○坂本委員長

シート上での大きな修正はありません。大学連携等も含め、事業の充実をお願いしたい旨の意見がありましたので、引き続きよろしく願いいたします。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.16 (P. 27～28) 社会体育施設の適切な管理運営と計画的な施設整備】

○坂本委員長

成果指標を事業目標である施設整備の実績とし、当初記載されていた利用者数は補助指標としての位置づけに変更されています。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

(異議なし。今回確認等事項なし)

【項目No.17（P. 29～30）市内文化財を活用した普及事業の開催】

○坂本委員長

シート上での大きな修正はありません。コロナ禍の中で様々な工夫をされているとのことで、引き続きよろしく申し上げます。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

（異議なし。今回確認等事項なし）

【項目No.18（P. 31～32）屋内外における多彩な行事の開催】

○坂本委員長

シート上での大きな修正はありません。本事業においても、コロナ禍の中で様々な工夫をされているとのことで、引き続きよろしく申し上げます。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

（異議なし。今回確認等事項なし）

【項目No.13（P. 33～34）子ども読書活動の推進】

○坂本委員長

中高生向けの図書館だより「YA 通信」の発行数を記載いただいています。引き続きよろしく申し上げます。追加の確認・質問事項等はありませんか。

○各評価委員

（異議なし。今回確認等事項なし）

【項目No.14（P. 35～36）資料の収集・整理・保存、及び郷土資料の整理・データ化の推進】

○坂本委員長

成果指標について利用登録者数ではなく貸出数や来館者数で把握すべきとの意見に対し、利用の「のべ人数」ではなく「実人数」である登録者数が最適とのご回答でした。この項目の指標については、第1回会議で委員から意見があった部分でもありますので、改めて担当課から説明をお願いします。

○橋本図書館長

成果指標として、利用登録者数を用いています。現在、市全体で策定中の第5次総合計画での図書館での成果指標としても本指標を使用する予定でいます。指標としました理由ですが、図書館について、一部の方だけが熱心に使っている、そのような施設になっていないかという批判や誤解に対しても、きちんと説明ができるような成果指標をと検討した結果、この利用登録者数が実人数を示す適切な数であるとして選定しました。自治体によっては、一度登録された方をそのまま利用がなくても残し利用登録者数に含めているところもあるようですが、本市は必ず3年更新として、更新されない場合は利用登録をはずしていますので、利用実態に近い数字が取れていると考えます。

○坂本委員長

利用登録者が3年で更新されるというご説明がありました。説明をお聞きするまでは一度登録してその後図書館へ行かなくなった方も含まれると思っていましたが、それはないということですね。

○橋本図書館長

はい、そうです。

○数宝委員

利用登録者数を指標とされた理由について、今回の説明をお聞きし納得いたしました。

○坂本委員長

もう1点確認なのですが、自動車文庫なかよし号の継続実施を求める意見に対し、今年度より地域のステーションは廃止して、学校への本の配送の充実や、高齢者・障がい者に対する自宅配送サービスを実施しているとのことをご回答をいただいています。経緯について少し分かりにくい部分もありますので、担当課の方から再度ご説明をお願いしていいでしょうか。

○橋本図書館長

自動車文庫については、今年度から配送先を小学校に特化させていただき、地域の公園や町会館といった地域のステーションは廃止しました。その経緯ですが、過去は地域のステーションをご利用いただいている方も多くおられました。図書館分館も徐々に整備が進み、特に平成25年に桜台と八木の分館ができてからは、地域のステーションの利用が落ち込み、そのまま中々回復しないということがございました。使われていない部分は廃止し、よく使っていた学校の子供たちに図書館の本を届けることに注力しようと考え、地域のステーションを廃止し、そのマンパワーを学校の方へ振り向けるとしたところです。

利用が減ったとは言いながら、地域のステーションをご利用いただいている方、特に、ご高齢の方、障がいをお持ちの方については、別途その方のご自宅の方に本を届ける、宅配サービスの方へ切替させていただき、図書館本館分館へお越しになる事が難しい方についても本を届けられる体制を構築しています。

○坂本委員長

当初、なかよし号の廃止という事だけを情報としてお聞きしたのですが、その背景に地域の分館が次々とオープンしていったというご事情、それに伴いいわゆるニーズが縮小していったというのを受け、順次廃止をされた、ただ学校への配送や高齢者・障がい者へは自宅配送サービスも始めているとのことご説明でした。他に追加の確認・質問事項等はございませんか。

○各評価委員

(異議なし。他の確認等事項なし)

○坂本委員長

生涯学習部については以上となりますが、他に全体で確認事項等はありませんでしょうか。ないようですので、生涯学習部については以上とします。

これでコロナ関連を除いての各項目につき、皆様から意見をいただいたことによる確認が終了しました。よろしいでしょうか。

○各評価委員

(異議なし)

○坂本委員長

それでは39頁以降の「令和3年度 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う主な対応」部分について、ご意見ご質問等はありませんでしょうか。

○各評価委員

(異議なし)

○坂本委員長

コロナに関しましては、まだ色々流動的な部分もあり、その対応につきましてもご苦労されるかと思いますが、引き続き宜しくお願いします。それでは点検・評価シートについては、確認いただきました皆様の意見を元に、最終案を作り上げていただきたいと思います。

ここからは、一連の点検・評価作業に関しての総評という形で、委員の皆様のお考えを確認したいと思います。

○柿花総務課主幹

少しお時間をいただき、総評(案)につきまして、事務局から読み上げさせていただきます。

(事務局による読み上げ)

○坂本委員長

総評(案)につきまして、委員の皆様からご意見等ございませんか。

○各評価委員

(異議なし)

○坂本委員長

では、本内容をもって評価委員会の総評とさせていただきます。

以上をもちまして、本日の議題がすべて終了いたしました。委員の皆様におかれましては、議事の円滑な進行にご協力をいただき有難うございました。

これもちまして終了したいと思います。事務局から何かございますか。

○柿花総務課主幹

委員の皆様、本日は大変お忙しい中、誠にありがとうございました。委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、次年度以降の事務改善に繋がるよう努めてまいります。

報告書(案)の作成につきましては、各シートの整理を行い、委員の皆様のご意見及び教育委員会の考え方、総評を整理し、後日、郵送いたします。

今後の予定は、作成いたしました報告書(案)を、8月の定例教育委員会会議において審議いただき、承認後は、9月の第3回定例市議会に報告する予定です。

また、市議会報告後、市のホームページに掲載するとともに、各市民センター等で公表してまいります。

最後に、教育長より委員の皆様に対し、お礼のご挨拶をさせていただきます。

○大下教育長

坂本委員長はじめ委員の皆様には、2回にわたり大変丁寧なご議論をいただき、本当に有難うございました。会議自体は2回ですが、事前に会議資料を送らせていただき、お目通しをいただくという大変なご努力をおかけいたしました。重ねて御礼を申し上げます。

会議の過程でも、例えばヤングケアラーに関しては、大人が気付くだけでは駄目で子ども達にしっかりと周知するという用意があるのかと、我々の取組にとり参考になるご意見を頂戴しました。また、点検評価については、報告書をまとめて終わりということではなく、今後教育委員会会議を通じて、議会にもお示しをし、市民の方にもお示しをして、教育委員会の活動について様々なご意見ご批判等いただくことが大事であるという中で、つい我々は専門用語を使いがちなのですが、そういう観点から、委員の皆さんからは、例えば略称や専門用語についてもう少し市民の方に分かりやすい丁寧な説明をすべきではないかということで、我々の日常業務の中からは気付かない貴重な提言をいただきました。

今後、先程申し上げたスケジュールに従って、議会あるいは市民の方にお示しし、議会からもまた様々なご意見をいただくことと思いますので、今後の教育行政の充実に積極的に活かしてまいりたいと考えています。2回の会議、事前のご準備と大変慎重なかつ有意義な議論をいただきまして、本当に有難うございました。

○坂本委員長

これをもちまして、令和4年度岸和田市教育委員会評価委員会を終了いたします。

《午後2時40分 終了》